



## 運動会ありがとうございました。いよいよ6月に…

5/24土曜日は雨のため、残念ながら延期とさせていただきましたが、翌日曜日には晴天に恵まれ、多くの保護者や地域の方にも来校いただき、運動会が開催できましたこと、厚くお礼申し上げます。

運動会明けの5/27火曜日には、子どもたちも教職員もやり切った後の虚脱感を感じているのでは?と心配しましたが、気持ちを入れ替えて授業に取り組んでいる高学年を見て安心したことでした。

運動会の余韻を楽しみながらも、次の目標に向けて、学校生活を楽しんで欲しいです。



## 資源回収 6/8よろしくお願ひします。

今日5/30は“ゴミ0の日”だそうで、明後日6/1は市内一斉清掃ですが、6月8日(日)は、久礼田小の資源回収がありますので、よろしくお願ひします。

PTA役員・地区部の皆様をはじめ、保護者や地域の方にもお世話になりますが、ご協力いただけますようよろしくお願ひします。

## 避難訓練 5/28

一昨日、緊急地震速報を使っての避難訓練を行いました。地震速報のテスト放送が外部スピーカーにも流れたので、学校周辺の皆様にはご迷惑をお掛けしたかもしれません。申し訳ありませんでした。



子どもたちは、慌てることなく、一次避難体勢を取り、先生の指示通りに、避難行動を取ることができました。

## 写真販売 運動会～6月28日まで

遠足の写真販売の期間は終了します(～5/31)が、昨日から運動会の写真販売を行っています。

大変遅くなりましたが、来週には、子どもたちが揃った学年から、学級写真を撮影したいと考えています。また、学級写真も仕上がりましたら、販売のお手紙を配付させていただきますので、ご協力よろしくお願ひします。

## 水泳が始まります

### ～アンケートのお願い～

昨年度、高知市で小学男児が水泳授業中に溺れて亡くなった事故を受け、今年度は特に、水泳の安全確認や事故防止緊急対応について研修や取組を進めています。そこで、水泳の授業を行うにあたって、お子様の泳力などに関するアンケートを実施させていただき、指導等に生かしていきたいと思います。ご多用のことと思いますが、お子様と話し合いながらアンケートに答えていただき、6月5日(木)までに、提出いただけますようご協力よろしくお願ひします。

来週に、5・6年生がプール洗いを行い、再来週の6月9日の週から、各学年(低・中・高)でプール開きをして、プールでの水泳授業が始まります。学校便りの予定に入っていましたが、詳細は、各学年からのお便り等でお知らせさせていただきます。

水泳授業の際のプール監視については、指導する先生も含めて常時3名以上の体制をとり、水位は、プールフロア等も使いながら、一番背の低い子どもの両肩が水面から出るラインを目安としていきます。

保護者の方で、水泳の授業の参観をしたい方は、連絡なく見に来ていただいて構いませんので、監視も含めて自由に参観していただければと思います。ご理解ご協力のほどよろしくお願ひします。

学校での水泳授業は、1955年に起きた紫雲丸事故がきっかけであると聞いたことがあります。それから70年、子どもたちが、自分自身の身の安全を守ることができるよう、学年に応じて泳ぐ力をつけたいと思っています。

日頃、読み聞かせや、人権教室の授業などでもお世話になっている澤村正彦さんより、人権擁護委員の日（6月1日）に際して原稿をいただきましたので、下記に紹介させていただきます。

## 「人権擁護委員の日」に寄せて

人権擁護委員 澤村正彦

久礼田小学校の保護者の皆さん、こんにちは。

私は、非常勤の仕事のかたわら、南国市人権擁護委員、久礼田小学校運営協議会委員、読み聞かせボランティアなどを務めている澤村正彦と申します。

来る6月1日が「人権擁護委員の日」に定められていることもあり、今年もこの時期に「久礼田小だより」に寄稿させていただくことになりました。

私は、学校のご協力を得て毎年7月と12月に人権教室（いずれも6年生）を開催していますが、こどもたちに「人権」について説明する際には、「人がみんな生まれたときからもっている『幸せになることができる権利』で、勉強したり努力して勝ち取るものではありません。」と説明しています。

このため、人権擁護委員として人権について考えるときには、「幸せ」や「幸福」ということについても考えています。アメリカのハーバード大学医学部教授らの論文によると、「幸福は伝染し、近くに幸せな友人がいると、幸福になる確率が高くなる。」のだそうです。数年前、よみうり子育て応援団大賞（奨励賞）に選ばれた京都府の谷口広子氏は、「自分の周りを幸せにしたい。幸せな空気が水面の波紋のように広がっていけばうれしい。」とおっしゃっていました。私も、先ずは自分自身や家族が幸せになって、その幸せをもって学校に啓発活動や読み聞かせなどに出向き、こどもたちに幸福の水輪を広げていきたいと思っています。

ご参考までに、やなせたかしさんが幸福について遺された言葉をふたつ紹介いたします。

「幸福は本当はすぐそばにあって、気づいてくれるのを待っているのだ。」

「悲しみがなければよろこびはない。不幸にならなければ幸福はわからない。」

本年度も、学校の教職員・保護者の皆さんと共に、こどもたちの健全育成に関わらせていただきたいと思いますので、人権擁護委員活動に引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

